

# タイ北部山間地における 茶生産をめぐる人と森林の関係史(仮)

佐々木 綾子 氏  
(日本大学 生物資源科学部)



## 日時

2021年12月7日(火) 17:00~18:30

## 開催方法

ZOOMによる開催です。下記サイトより事前にお申し込みください。  
<https://forms.gle/xZajm5hDPpUJWY3BA> (12月7日15:00締め切り)

## 要旨

気候変動の進行に伴う集中豪雨の増加など自然環境の変化が予測される一方、それらの対策として重要性を増すインフラは維持管理が徐々に困難となることが指摘されている。こうした背景から、既存のインフラを最大限活用しつつ、自然の地形や生物を活かした社会基盤、すなわち「グリーンインフラ」を活用することが重要視されはじめている。グリーンインフラの評価は防災・減災に限定されるものではなく、地域の原風景を守り、生物多様性豊かな地域社会の形成にも貢献すると期待されている。しかし同時に、グリーンインフラの機能を古くから有してきた農村地域では、人口減少や高齢化によって本来の生産機能が失われつつあることも指摘されている。

本報告では、タイ北部山間地における林内チャ栽培を事例に、茶生産者が森林に対して行ってきた(あるいは行ってこなかった)働きかけを明らかにすることで、グリーンインフラと評価される土地利用形態がなぜ、どのように維持されてきたのかを考察する。また、近年の茶生産物をめぐる消費者の動向や林内茶園をめぐる外部からの評価に着目し、生産者と消費者との意識の乖離が今後の土地利用に及ぼす影響について考えたい。

(共催：科研費基盤研究B一般「アジアにおける公正で持続可能なフードシステム構築のための農と食の総合的研究」/ 京都大学融合チーム研究プログラム SPIRITS2021「環境・健康志向型ドメスティケーション研究拠点の構築」)